

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農地費 目：農村総合整備事業費

事業名 小水力発電環境保全事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農地整備課 水利・小水力係 電話番号：058-272-1111 (内 3183)

E-mail： c11431@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,300千円 (前年度予算額：5,300千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,300	0	0	0	0	0	5,300	0	0
要求額	5,300	0	0	0	0	0	5,300	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

近年、再生可能エネルギーの活用に関心が寄せられている。本県は豊かな水資源があるものの、活用にあたっては発電施設の投資に多額の費用と時間を要する。

小水力発電は建設時の環境負荷が小さく、環境保全への寄与を図ることができるという利点はあるが、普及は進んでおらず、地域住民の認識も低い。

このため、市町村・地域団体等が、身近な水路等に水力発電施設を設置、あわせて環境保全学習を実施することを通じ、環境負荷の低い再生可能エネルギーシステムの普及・啓発を図る。

(2) 事業内容

① 評価会議

応募団体について第三者の評価会議を県が行い、実施団体を決定する。

② 環境教育推進型

簡易な小水力発電施設の設置 (既存施設の活用も可) 及び必要に応じて電力利用先に要する経費の補助。

③ 環境保全提案型

小規模(0.1kW 以上)な小水力発電施設の設置に要する経費の補助。

(3) 県負担・補助率の考え方（森林環境税事業）

- ① 県費：100%
- ② 定額（上限 1,000 千円）
- ③ 定額：県 2,000 千円/kW（上限 10,000 千円）

(4) 類似事業の有無

有 小水力発電活用支援事業費補助金

農業用水利施設を活用した小水力発電により農業振興等を目指す市町村、土地改良区、農業協同組合に対し、施設整備費用の一部を助成する。

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	189	評価会議構成員報償費
旅費	39	評価会議構成員旅費
消耗品費	57	評価会議に係る消耗品
会議費	3	評価会議構成員お茶代
役務費	12	郵便代
補助金	5,000	小水力発電施設の施設費用に助成
合計	5,300	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

IV 美しい自然と環境を守る「清流の国」づくり

1 3 自然資源等を活用した新たなエネルギーをつくり出し、活用する

(2) 後年度の財政負担

事業期間 5 年（令和 3 年度）で、補助金の継続等について検討

(3) 事業主体及びその妥当性

事業主体：市町村、NPO 法人、地域団体等

・ 現行の農水省助成事業及び県営単独事業では整備推進するための事業制度がない。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	小水力発電環境保全事業費
補助事業者（団体）	市町村、NPO法人、地域団体等
補助事業の概要	（目的）環境負荷の低い再生可能エネルギーシステムの普及、啓発を図る。 （内容）市町村、地域団体等に対して、身近な水路等への水力発電施設の設置を補助し、環境保全学習を実施する。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） 環境教育推進型：定額（上限1,000千円） 環境保全提案型： 1.0kw以上2,000千円/kw（上限1,000千円） 1.0kwまで1,000千円+100千円/0.1kw
補助効果	環境保全学習により、再生可能エネルギーシステムの普及、啓発を図る。
終期の設定	終期令和3年度 （理由）清流の国ぎふ森林・環境基金事業の終期

（事業目標）

- ・終期までに何をどのような状態にしたいのか
環境負荷の低い再生可能エネルギーシステムの普及・啓発を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H28年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
①小水力発電施設数（推進型）	0	10	10
②小水力発電施設数（提案型）	0	5	5

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	千円	(予算額) 10,000千円	(予算額) 10,000千円	(予算額) 10,000千円	(予算額) 5,300千円	(要求額) 5,300千円
指標①目標		2	4	6	8	10
指標①実績		1	1	2	4	
指標①達成率	%	(推計値) 50%	(推計値) 25%	(推計値) 33%	(推計値) 50%	%
指標②目標		1	2	3	4	5
指標②実績		0	0	0	0	
指標②達成率	%	(推計値) 0%	(推計値) 50%	(推計値) 0%	(推計値) 0%	%

(前年度の成果)

身近な水路等に小水力発電施設を設置し、環境保全学習を実施することを通じ、環境負荷の低い再生可能エネルギーシステムの普及・啓発を図ることができた。

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
今後、更に事業内容の啓発による円滑な事業推進を図る必要がある。

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）
○：必要性が高い △：必要性が低い

(評価) ○ 地域に小規模な小水力発電施設を設置するとともに、環境学習等をあわせて実施し、本県の豊かな資源を活用した再生可能エネルギーへの理解・普及を進めるため必要である。

- ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）
○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている
△：まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価) △ 指標の実績が目標を下回っている。要因として、事業に関する周知が足りなかったことが挙げられ、更に周知していく必要がある。

- ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）
○：効率化は図られている △：向上の余地がある

(評価) ○ 事業要件を拡充し、応募しやすい環境を作り、事業を実施している。

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・**廃止**

(理由) 今後は、他事業で設置した発電施設等を活用し、再生可能エネルギーの普及啓発を図るため。